

産業陶磁演習 評価ルーブリック

評価項目	S・A	B	C	D
窯業地の調査から展開できる要素を分析し、商品化に向け企画することができる。(A-2)	窯業地の調査から展開できる要素を的確に分析し、商品化に向け産地の発展に貢献できる提案をすることができる。	窯業地の調査から展開できる要素を分析し、商品化に向け新しい提案をすることができる。	窯業地の調査から展開できる要素を分析し、商品化を企画することができる。	窯業地の調査から展開できる要素の分析が不十分で、商品化に向け企画することができない。
陶磁器製品を創作するための造形力を養うことができる。(A-2)	陶磁器製品を創作するための造形力が十分身に付いており、積極的に実践できる。	陶磁器製品を創作するための造形力が十分身に付いている。	陶磁器製品を創作するための造形力が身に付いている。	陶磁器製品を創作するための造形力が不十分である。
実践的なメーカーとのやり取りを通して、コミュニケーション能力を身につけることができる。(A-2)	実践的なメーカーとのやり取りを積極的にいき、コミュニケーション能力が十分に身につけている。	実践的なメーカーとのやり取りを行うコミュニケーション能力が十分に身につけている。	実践的なメーカーとのやり取りを行うコミュニケーション能力を身につけている。	実践的なメーカーとのやり取りを行うコミュニケーション能力を身につけていない。